

2025 年度 人間科学研究科参考文献リスト

領域で研究する上で参考になる資料を挙げていますので、進学を検討する際の参考にしてください。なお、この文献は入試問題と直接関係するものではありません。入試問題については、過去2年分をHPで公開しています。

■ 心理学領域

1. ドナルド・D.ホフマン著 Hoffman D. D. 原淳子 & 望月弘子. (2003). 視覚の文法：脳が物を見る法則. 紀伊國屋書店.

推薦者からひとこと 人間がいとも簡単に実現している知覚、つまり「見る」や「聞く」とは、一体どういうことなのだろうか。本書「視覚の文法」は、身近でありながらも奥が深い視覚世界の謎に実験心理学のアプローチで迫る、人間科学としての心理学のエッセンスが詰まった一冊である。

2. 高野陽太郎・岡隆編 (2017). 心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし 補訂版 有斐閣アルマ.

推薦者からひとこと 心理学研究における、科学的な実証的研究の重要性や基本のロジックをわかりやすく解説。近年の変化に対応し、「効果量」や「信頼区間の活用」に関する新たな節が補訂されています。

3. スタノヴィッチ, K. E. 金坂弥起 (監訳) (2016). 心理学をまじめに考える方法：真実を見抜く批判的思考 誠信書房

推薦者からひとこと 心に対して科学的にアプローチするとは、どういうことであろうか。また、なぜ科学的にアプローチする必要があるのだろうか。本書には、心について考える一般人や心を研究する者に求められる姿勢や考え、知恵がわかりやすく書かれている。

4. 村上郁也. (2010). イラストレクチャー 認知神経科学: 心理学と脳科学が解くこころの仕組み. オーム社

推薦者からひとこと 本書では、心理学の基礎研究をすすめる上で必須の知識であるさまざまな認知機能とそれを支える脳のメカニズムについて幅広くわかりやすく解説されている。本格的な研究に入る前に、まずは本書に一通り目を通しておくことをおすすめしたい。研究を行う際には辞典的に使うこともできる。

■ 臨床心理学領域

1. 野島一彦・岡村達也編 (2018). 臨床心理学概論. 遠見書房.

遠見書房「公認心理師の基礎と実践シリーズ」の一部であり、基礎的な理論概念や実践の分かりやすい概説となっている。

2. 津川律子・遠藤裕乃編 (2019). 心理的アセスメント. 遠見書房.

遠見書房「公認心理師の基礎と実践シリーズ」の一部であり、心理アセスメントという心理職にとっての柱の一つを分野や対象別にわかりやすく解説している。大学院の勉強だけでなく、実践家にとっても使いやすい一冊となっている。

3. 下山晴彦・石丸径一郎 (2020). 臨床心理学概論. ミネルヴァ書房.

分かりやすくみやすく学びやすい臨床心理学の基礎を集約している。大学院に入るまえに復習しておきたい基礎が満載。

4. 岩壁茂・遠藤利彦・黒木俊秀・中嶋義文・中村知靖・橋本和明・増沢高・村瀬嘉代子 編 (2023). 臨床心理学スタンダードテキスト. 金剛出版.

臨床心理学の第一人者らによる重要概念の解説。1000ページにのぼるが臨床心理学の実践・研究の幅広い領域を網羅している。タイトルの通り「スタンダード」とも言える大著。

5. 村瀬嘉代子(2020). 子どもの心に出会うときー心理臨床の背景と技法. 金剛出版.

人と人が出会うという心理臨床の世界の本質に迫る。事実を伝え、そして心的世界を豊かに描く著者の臨床的センスは、時代を超えて人々の心に訴える。

■ 実践人間科学領域

専門科目「実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）」は、心理学、臨床心理学に加えて健康科学、社会学、社会福祉学、社会病理学、教育学、文化人類学、経済学、組織行動学など隣接する人文、社会科学を含むものです。この領域の柱となる科目「心理プラス Com (PBL)」にて、院生たちは各フィールドでの課題を抽出し、その成果の分析検討を行います。複数の比較的近い専門領域を持つ研究者(後期課程院生を含む)たちと、それらの課題に関する分析を行い、問題発見への目を養います。多様性社会（ダイバーシティ）の選択、ライフコース形成とケア、社会的イノベーションといったコアコンセプトのもと、協働的支援、コミュニティ創成へと展開させていく道筋を探究します。人間にかかわる問題を主体的に発見する力、理論と実践を相互還流させてとらえる論理展開力を把握するために、入試専門科目は「心理学をコアとする人間科学」に関する基礎的な文章を読んだ上で論述するという出題形式をとります。以下の様な書物を参考にして、問題意識を磨いてください。

1. 澤野美智子（編著）(2018).医療人類学を学ぶための 60 冊. 明石書店
2. 笠原広一 & リタ・L・アーウィン.（編著）(2019). アートグラフィー -芸術家／研究者／教育者として生きる探求の技法-. ブックウェイ
3. 鈴木竜太・服部泰宏(2019). 組織行動. 有斐閣
4. 大竹文雄(2019). 行動経済学の使い方. 岩波新書
5. 増田梨花(2018). 絵本とともに学ぶ発達と教育の心理学. 晃洋書房
6. 島宗理(2018). 応用行動分析学 -ヒューマンサービスを改善する行動科学-. 新曜社
7. 望月昭・村本邦子・土田宣明・徳田完二・春日井敏之（編著）（2013）. 対人援助学の到達点. 晃洋書房
8. 村本邦子・土田宣明・徳田完二・春日井敏之・望月昭（編）（2013）. 対人援助学を拓く. 晃洋書房
9. 村本邦子・中村正・荒木穂積（編著）（2015）. 臨地の対人援助学―東日本大震災と復興の物語―. 晃洋書房
10. リタ・シャロン他(2019). ナラティブ・メディスンの原理と実践. 北大路書房

以上